

Q 人権対策への取り組みは

山本 一也 議員

A 重要施策の一つとする

市長

Q 江田島市総合計画で人権対策の位置付けは。

A 国が策定した人権教育・啓発に関する基本計画を踏まえ、本市の重要施策の一つとした。

A 事業認可の際に周辺住民との合意形成を図り、粉塵対策や環境対策を県に要望している。

Q 老朽化校舎と体育館の建て替え計画は。

A 今年度、鹿川小は新校舎に、来年度、柿浦小体育館を新築予定。その他は統合計画とリンクさせていきたい。

Q 保育園の土曜開設と保育士の労働環境の改善について。

A 市内全園とも土曜日は正午まで通常保育をしている。また、小用・

大古・柿浦においては、午後からの延長保育も実施している。労働環境は、臨時保育士等の登録制度などにより、対処しているが、園の統合など他面的に検討し、保育士の勤務環境の改善に努める。

向井亜紀さんを迎える「ヒューマンフェスタ江田島」



▲向井亜紀さんを迎える「ヒューマンフェスタ江田島」

Q 幼稚園に送迎バスの運行を

太刀掛隼則 議員

A 現段階では非常に難しい

市長



▲園庭に車を乗り入れての送迎（江田島幼稚園）

Q 18年度には、小学校が統廃合され、これに伴いスクールバスの運行が計画されていますが、併せて幼稚園児の送迎バスの運行は考えられませんか。

A 現在、通園している園児は47人で、大原官舎27人、鷺部官舎10人、津久茂・切串・鷺部・中央・大柿町・能美町から

1人〜3人が通園している。幼稚園は市内に1園しかありません。そのため、通園区域は市内全域となっており、すべての園児を送迎バスで対応することは難しいと考えています。

事故が起きないように取り組んでおり、今後とも園児の安全確保に最大限の注意を払い、さらによりよい対策を検討したい。

Q 環境問題をどう考えているか

胡子 雅信 議員

A 議会と協議して対応したい

市長

Q 江田島市内での産業廃棄物処理施設などの環境問題に取り組む住民反対運動について、市長の見解を伺いたい。

A 産業廃棄物処理施設（江田島町・沖美町）について、許可権者の広島県に対して住民の支持

を得ていないという意見書を提出している。沖美町に関しては、県の指導や議会と十分協議して対応したい。

自治体や国で成果主義型の人事評価制度を導入する動きについて、江田島市はどう考えているか。

A 国が新たに人事評価制度を示した段階で、人材育成・人事配置・給与処遇に活用できる評価制度の導入を検討する。



▲採石事業の反対を訴える立看板（大柿町大君）

Q 申請中の産業廃棄物処分場は

石下 洋子 議員

A 議会に諮り十分協議する

市長



▲産業廃棄物処分場が計画されている沖美町是長地区

Q 旧沖美町で計画された産業廃棄物処分場に、住民の過半数の反対署名が提出されている。沖美町と事業者の協定書は、再検討すべきではないか。

A 事業許可権は、県知事にある。住民の反対意見に対して真摯に受け止め、県・事業者に

対し、住民の理解を得るよう要望する。協定書の再検討については、旧町の事業はすべて引き継ぐことになっているので、議会に諮り十分協議していく。

Q 本年度から、土曜日・長期休業中の午後の学童保育が廃止された。